

■5月8日（火）は幻の滝「樽滝」落水の日

春と秋、年に2回しか姿を現さない幻の滝「樽滝」の落水イベントが行われます。当日は、樽滝周辺でのイベントのほか、樽滝に隣接する糠千集落の有志「糠千ものずき会」によるそば祭りも開催されます。新緑の樽滝を見た後は、そば祭りにお立ち寄りください。

◆樽滝の落水◆

時間 午前8時30分～午後4時
場所 国道403号 滝見橋



※詳細は木島平村観光協会 0269-82-2800 までお問合せください。

■よろしくお願ひします

4月1日付人事異動により、事務局である総務課職員の異動がありました。前任者へのご指導に感謝申し上げますとともに、新たな担当者についてもよろしくお願ひいたします。

・総務課長 新…武田彰一(中島) 旧…佐藤裕重
・政策情報係長 新…岡田孝夫(和栗) 旧…丸山寛人

■麗らかな春陽を享けての花見会

さいたま市 小林莊志(内山出身)

去る3月31日、ふるさと応援団木島平会で初めての花見会が、藤原会長をはじめとする有志で開催されました。

当日は、岩下富恵さん、湯本信子さんの幹事役で、11時にJR飯田橋駅前に集合しました。

駅脇の外堀公園お堀土手の桜花はすでに散り始め、ちよつと寂しかったですが、人出も多く賑やかで、参加者一行の9人は神楽坂の料亭「鳥茶屋」別亭へと向かいました。

さすが人気の料亭、昼食時でもあり店前には人の行列が出来ていました。2階の部屋に案内された一行は、藤原会長の乾杯の音頭で開宴となりました。お刺身と鍋料理、煮物などをつまみながら、ビールと焼酎で話題も弾み、楽しい一時を過ごせました。

食事の後、都合のつく人達で近くの毘沙門天へ参拝し、枝垂れ桜の下で記念撮影したあと、神楽坂の裏道を、水色のハッピー姿で皆と散策しました。

駅前のコーヒー店で暫く雑談笑の後、5月の定期総会での再会を誓って、事故もなく無事散会しました。



■村の学校を訪ねて学ぶ

千葉市 小池脩一（中村出身）

確か平成25年6月の「ふるさと応援団木島平会」の総会後の交流会であったと思う。当時教育長の丸山幸一先生とお話をする機会があり、木島平村小中一貫型教育についての取り組みを紹介された。平成22年4月に村内三小学校が統廃合され、木島平小学校が誕生したのを機に、その翌年から小中一貫教育が推進されるようになったという。いろいろとお話を伺う中で、「機会があれば参加しないか」と声をかけていただいた。

早速、小・中学校で年数回の公開学習検討会が開催されているので、そこに参加させていただくことにした。それから今年の1月まで5年間にわたって何回か勉強させていただいた。

お伺いしての印象は環境の良さである。私の子どもの頃の木造校舎とは違い、本当に恵まれた校舎と施設設備でうらやましい限りである。また、児童・生徒数が少なく、一学級あたり二十数名と理想的である。私が子どもの頃は中村だけで同級生が二十数名いたことを考えると隔世の感がある。

授業は、いわゆる一斉授業から「少人数グループで考え合う、協同する学び」へと意図されていて、子どもたち一人ひとりの学びが大切にされている。どの教室も子ども同士や子どもと教師の聴き合う関係が構築され、終始あたたかい雰囲気になっている。

一番感動を受けた授業は四年国語の「ごんぎつね」である。45分間、子どもたちの集中力が絶えることなく、お互いの心の対話が成立していた。授業後の子どもたちの満足した表情が忘れられ

ない。これは日頃から先生方が授業改善に向けて研鑽を積み重ねられていた賜だと思ふ。

毎月帰省した折に、「ふう太ネット」を見ると、村の出来事を放映している。時には、子どもたちの活躍や学校行事などもある。保・小・中・高の連携や地域の皆さんとの交流もあり、村全体で次代を担う子どもたちの育成にあたられていることがわかる。

「ふるさと応援団」に参加して、村の学校を参観する機会に恵まれた。千葉での研修会で、「こんなすばらしい授業がありますよ」と紹介できる幸せを感じている。



木島平小学校



「未来へ向う」

会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へご送付ください。】

【送付先】〒389 2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269 824121

✉ seisaku@vil.kijimadaira.lg.jp